

福島県立博物館 秋の企画展

# 天kinuの絹糸ito

— ヒトと虫の民俗誌 —

会 期：平成 10年10月10日(土) ~ 12月13日(日)  
休 館 日：毎週月曜日、祝日の翌日(11月4日・24日)  
(11月23日の月曜日は開館しています。)

蚕を養う、ヒトが蚕という虫とともにくらす風景は、かつて日本人の日常においては決して、めずらしいものでも、また不思議なものでもありませんでした。季節がめぐってくると人々は、自分たちの生活空間である「家」を、わずかな居場所だけを残して、この虫たちに提供しました。何万、何十万という数の虫を、生まれたばかりの毛蚕けごの段階から、白く美しい繭となって手をはなれるまで、丹精込めて大切に大切に育ててきました。

蚕は、日本人にとってとても身近な生きものだったのです。なかでも福島県は、古くから養蚕が盛んで、いまでも群馬県に次ぐ養蚕県です。多くの人々が養蚕と深いかわりをもち、そこにさまざまな歴史と文化を育んできました。この展覧会では、この蚕という虫と人々が、どのようにくらし、どのような歴史や文化を育んできたのかを紹介していこうと思っています。

## 【企画展関連行事】

### ◆ 企画展記念講演会

「野の博物誌」

講師 篠原 徹 (国立歴史民俗博物館教授)  
10月17日(土) 13:30 ~ 博物館講堂 入場無料

### ◆ 企画展記念公演

「オシラ遊ばせ」を観る

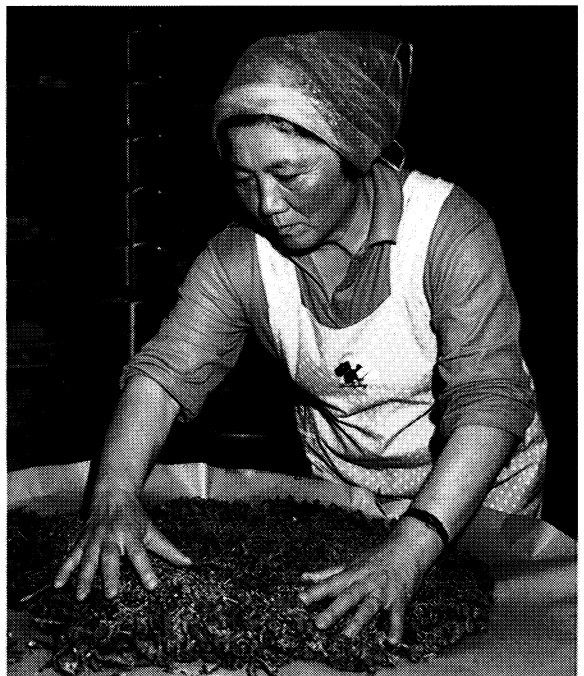
講師 中村タケ (解説 学芸員 佐治 靖)  
10月25日(日) 13:30 ~ 博物館講堂 入場無料

文 化

窓 9



養蚕図絵馬 (部分)



稚蚕飼育の状況

## 企画展観覧料

一般・大学生 = 260円 (210円)  
高 校 生 = 150円 (120円)  
小・中 学 生 = 100円 (80円)  
( )内は、20名以上の団体

※ 学校団体は事前申請(1週間前)により減免措置を受けることができます。